

Economic Monitor

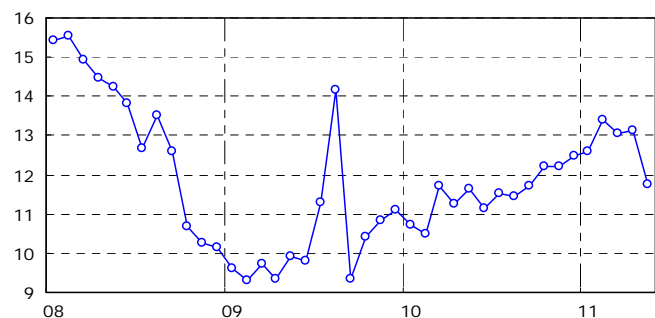
東日本大震災の影響が甚大な5月の米新車販売急減

5月の米新車販売台数（米 Autodata ベース）は前月比▲10.4%（4月0.5%）と急減した。4～5月平均は1～3月期を年率換算で16.4%も下回っており6月に多少持ち直しても、4～6月期の大幅減少が避けられない。4～6月期の耐久財消費は低迷を余儀なくされる可能性が高い。

5月の米新車販売減少には様々な要因が影響を及ぼしたと考えられる。①コンファレンスボードの5月消費者信頼感指数が示したマインド悪化、②5月ADP調査が示した雇用改善の鈍化、③自動車販売価格の引き上げ、④ガソリン高による購買力低下、⑤東日本大震災によるサプライチェーン途絶などである。いずれも多かれ少なかれ販売押し下げに影響したことは間違いない。但し、5月に限れば、サプライチェーン途絶のマイナスインパクトが特に大きい。

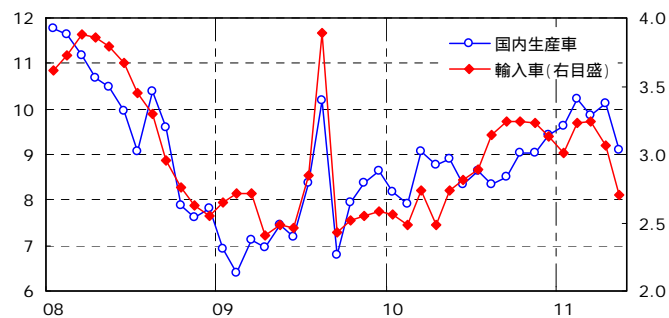
車種別内訳を見ると、燃費に優れる乗用車（Autos）が前月比▲15.4%とライトトラック（Light Trucks）の▲5.1%を上回る減少を示しており、ガソリン高の影響は大きくないことが分かる（寧ろ4月迄の乗用車好調にこそガソリン高の影響は現れている）。また、生産地別販売に示された輸入車の落ち込みやメーカー別販売に示された日本車の急減とG3・欧州車・韓国車の好調は、日本車における供給制約の悪影響が甚大なことを如実に示している。裏を返せば、G3等の堅調推移はマインド悪化や雇用減速、価格引き上げがそれほど大きな影響を及ぼしていない証左でもある。東日本大震災に起因したサプライチェーン途絶は部品供給減少を通じて、日本メーカー以外にも悪影響を及ぼした。しかし、当然ながら悪影響の大きさは「日本メーカーの日本生産 > 日本メーカーの海外生産 >> 日本メーカー以外」である。

米新車販売台数の推移（年率、百万台）



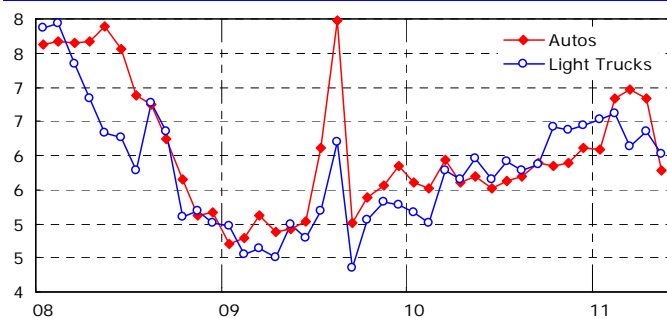
(出所)CEIC Data, Autodata

米新車販売台数の推移：生産地別（年率、百万台）



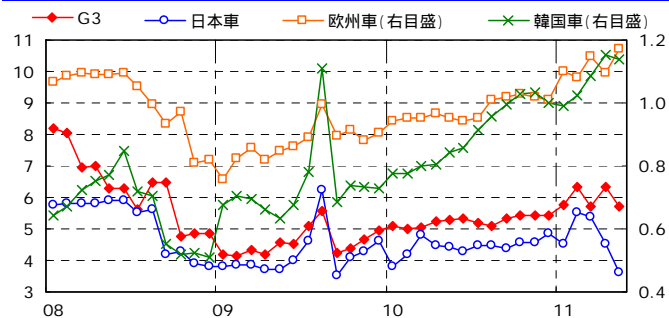
(出所)CEIC Data, Autodata

米新車販売台数の推移：車種別（年率、百万台）



(出所)CEIC Data, Autodata

各国メーカー別販売台数の推移（年率、百万台）



(出所)Bloomberg

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、伊藤忠経済研究所が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。記載内容は、伊藤忠商事ないしはその関連会社の投資方針と整合的であるとは限りません。